

# 国際研究集会のご案内

現在、ドイツのボン大学では共同研究センター「権力と統治—文化横断的アプローチから見た前近代史上の諸形態」が立ち上げられ、その一環として、デトレフ・タランチェフスキ氏を中心とした日本中世史研究プロジェクトが進められています。このプロジェクトの概要と、ボン大学から東京大学史料編纂所に外国人研究員として来られている若手研究者の研究発表とを合わせ、皆様に広く報告していただく研究集会を開催いたします。

ドイツにおける日本中世史研究の現状に触れる機会としていただければ幸いです。

## 国際研究集会「ドイツにおける日本中世史研究の現在」

日時：2018年3月9日（金）14:00～17:00

会場：東京大学史料編纂所大会議室

### 【プログラム】

14:00～14:05 趣旨説明

14:05～14:40 近藤 成一氏(放送大学教授)

「ドイツにおける日本中世史研究の現在—ボン大学の取り組み(仮)」

14:50～15:30 シモン チェルカフスキ氏

(ボン大学助手、史料編纂所外国人研究員)

「史料から見られる南北朝時代の菊池氏の倫理・精神状態(仮)」

15:30～15:45 高橋 典幸氏(東京大学准教授)

シモン チェルカフスキ報告へのコメント

15:55～16:35 クリスチャン ヴェルナー氏

(ボン大学研究員、史料編纂所外国人研究員)

「鎌倉時代の法と地域的支配

—裁判からみた鎌倉幕府と六波羅探題の関係について(仮)」

16:35～16:50 近藤 成一氏(放送大学教授)

クリスチャン ヴェルナー報告へのコメント

※すべて日本語での報告です。各報告間に質疑と休憩の時間を設けます。



(ドイツ・ボン大学)

**参加費無料 事前申し込み不要**

主催：東京大学史料編纂所

共催：科学研究費補助金「マルチアーカイブアル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」(基盤研究(S)、研究代表者保谷徹)

◎会場の史料編纂所大会議室は、史料編纂所の向かい側の建物、地下1階になります。

